

01 大規模災害からの復興と対策を議論する「水と災害に関する東京会議」開催

JICAは、「水と災害に関する有識者委員会」(HLEP)※との共催で、4月28日に「水と災害に関する東京会議」を開催。東日本大震災で未曾有の津波被害を受けた日本を支援するため、国際社会がどのようなアクションを起こすべきか、そして世界は大規模災害にどう準備すべきかを議論しました。

ハン・スンスHLEP議長(元韓国首相)は開会あいさつとして東日本大震災の犠牲者に哀悼の意を示し、「国際社会が共に日本の復興を支援すると同時に、世界の水にかかわる災害リスクをどう減らし、何ができるかのアクションプランを作ることが必要」と述べました。また、緒方貞子JICA理事長は、「これまでJICAは、インドネシアをはじめ多くの国々で災害復興支援を行ってきたが、今回は日本が各国の経験に学ぶ番。人間の安全保障を中心に据え、復興に向け努力していかなければ」とスピーチしました。さらに会場では、バン・ギムン国連事務総長、「国連水と衛生に関する諮問委員会」(UNSGAB)議長であるオランダのウイレム・アレクサンダー皇太子殿下、被災した岩手県の達増拓也知事のビデオメッセージを紹介。達増知事からは「人間本位の復興により被災者の方々が幸福を追求できるよう取り組んでいきたい」とのメッセージが寄せられました。

また会議では、世界各地で発生した過去の災害における経験を今後に生かすため、インド洋津波やハリケーン・カトリーナによる被害からの復興事業や水害



参加者の意見をとりまとめるハン・スンスHLEP議長(中央)。隣は緒方JICA理事長。会議の前日、出席者らは被災地の陸前高田市を視察した

対策について、インドネシア復興再建庁元長官や米国防軍工兵隊副長官、オランダ・UNSGAB議長顧問から紹介。これらを踏まえた議論の結果、次の緊急提言が策定されました。(1)過去の災害を参考に大規模災害の被害を抑える対策について話し合う特別会議を国連で開催し、定期的に会合を行うメカニズムをつくること、(2)大災害が国際的、地域的、国内の経済に与えた影響や、それを最小限に抑える方法について研究すること、(3)地域的な協力メカニズムを設立すること、(4)国際社会と日本が正確かつ詳細な情報や経験を共有すること。この中でJICAは、(4)を実現させるため、世界各地の100以上の拠点とこれまで築いてきたネットワークを活用し、国内外に情報を発信する重要な役割を担っていく予定です。

※「国連水と衛生に関する諮問委員会」(UNSGAB)の要請で設立された委員会。ハン・スンス元韓国首相が創設委員長。

02 国際協力に参加してみませんか? 地球ひろばで参加者を募集中

■国際協力レポーター2011

開発途上国で行われている日本の国際協力の現場を視察し、帰国後、感想や意見を報告していただく国際協力レポーターへの参加者を募集しています。8月下旬の約1週間、ベトナムとケニアに各10名を派遣する予定です。

募集期間：6月20日(月)まで

■JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2011

途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、日本、そして一人一人が何をすべきか考えることを目的としたコンテスト。「これからの日本と世界の中で私たちができること」をテーマとしたエッセイを中学生・高校生から募集します。

募集期間：6月16日(木)～9月16日(金)

■グローバル教育コンクール2011

途上国が抱える問題を理解し、望ましい開発のあり方や、途上国と日本のつながりを考えて行動できるグローバル人材を育成する「グローバル教育」。このコンクールでは、教材として利用できる「写真・映像」部門、教育実践・活動をレポートした「国際協力レポート」部門の2部門で、グローバル教育の現場で実際に活用できる作品を募集しています。

募集期間：6月6日(月)～10月24日(月)

問：(社)青年海外協力協会内運営事務局
TEL：03-3406-5274
URL：www.jica.go.jp/hiroba

03 「世界の笑顔のために」プログラムで途上国にモノを送ろう

開発途上国が必要とされている物品を日本国内で募集し、派遣中のJICAボランティアを通して世界各地へ届ける「世界の笑顔のために」プログラムの第1回目の募集が始まります。募集の対象は、教材類、車いすなどの福祉関連用品、スポーツ用品、楽器類など。前回は約5000個の物品を36カ国へ送り届けました。誰にでも気軽にできる国際協力。締切間近ですが、たくさん

の応募をお待ちしています。

応募方法：JICAホームページより参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入してEメールかFAXで送付。

募集期間：6月13日(月)まで

問：JICA青年海外協力隊事務局「世界の笑顔のために」プログラム係
TEL：03-5226-9196(平日10時～17時)

FAX：03-5226-6379
Eメール：jicajv-egao@jica.go.jp
URL：www.jica.go.jp/partner/smile/